

令和7年度千葉駅帰宅困難者対策実動訓練を実施します
～駅利用者の保護や、帰宅困難者の一時滞在施設受け入れ等の訓練を実施～

千葉市では、地震等により、J R 千葉駅を中心に発生する帰宅困難者への対応能力の向上および関係機関等の連携強化を図るため、11月20日（木）に帰宅困難者対策実動訓練を実施しますので、お知らせします。

1 日時

令和7年11月20日（木） 9：30～11：50

2 場所

J R 千葉駅周辺

千葉市生涯学習センター（一時滞在施設）

3 訓練概要

J R 千葉駅構内等での利用者保護および情報提供を行った後、生涯学習センターで一時滞在施設での受け入れに係る訓練を行います。終了後、参加の関係機関・団体による意見交換会において訓練の振り返りを行います。

① 駅構内での利用者保護訓練（J R 千葉駅構内等）

駅員等が、利用者を安全な場所へ誘導し、負傷者の応急処置を行う。

② 情報提供訓練（J R 千葉駅構内等）

帰宅困難者に対し、一時滞在施設の開設状況等の情報提供を行う。

③ 一時滞在施設受け入れ訓練（生涯学習センター）

施設の開設準備、帰宅困難者の受け入れおよび物資の配布等を行う。

※訓練の振り返りにおいては、上記に加え、別日に各区役所と関係機関・団体間で実施する通信訓練についても併せて取り扱います。

4 主催

千葉県、千葉市、千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会

5 参加団体・人数

協議会加入団体等 約90人（うち、帰宅困難者役 約50人）

6 取材について

- ・会場内では自社の腕章等を着用し、駅・施設利用者、訓練に支障がない場所での取材にご協力ください。
- ・報道機関向けの駐車場はありませんので、予めご了承ください。

7 その他

市内での帰宅困難者対策実動訓練は、平成24年度および平成30年度にJR海浜幕張駅、平成25年度および平成29年度にJR千葉駅で実施しており、今回で5回目となります。

＜参考＞千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会について

1 設立経緯および目的

平成23年3月の東日本大震災を契機に、千葉県では同年12月に「駅周辺帰宅困難者等対策協議会設置のためのガイドライン」を作成しました。当該ガイドラインでは、大量の帰宅困難者等の発生が予想される駅ごとに行政と関係事業者等で構成する協議会を設置して、地震等の発生時における帰宅困難者等対策に取り組んで行くこととしています。

東日本大震災では千葉駅周辺においても多数の帰宅困難者が発生したことから、駅を中心とした周辺の関係機関・団体、行政機関や消防・警察の間で共通の認識を持ち対応に当たるため、平成24年4月に「千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会」が設置されました。

2 構成機関・団体

千葉県、千葉市（区役所・消防局含む）、千葉中央警察署、千葉県警察千葉市警察部、千葉県警察本部鉄道警察隊、東日本旅客鉄道株式会社千葉統括センター（千葉駅）、京成電鉄株式会社、千葉都市モノレール株式会社、一般社団法人千葉県バス協会、千葉県文化会館、千葉県文書館、株式会社JPF、千葉サイクル会館、千葉市生涯学習センター、財務省関東財務局千葉財務事務所、株式会社千葉銀行、千葉縣市町村職員共済組合、千葉県社会福祉センター、千葉公園総合体育館、株式会社京葉銀行千葉みなと本部、JFEスチール株式会社東日本製鉄所（千葉地区）、千葉商工会議所、株式会社そごう・西武そごう千葉店、株式会社千葉センシティ、株式会社千葉ショッピングセンター、株式会社千葉京成ホテル、株式会社千葉ステーションビル、公益社団法人千葉市観光協会

問い合わせ先

【帰宅困難者対策実動訓練に関すること】

総合政策局危機管理部防災対策課 電話245-5150

【千葉駅周辺帰宅困難者等対策協議会の運営に関すること】

中央区地域づくり支援課 電話221-2248